

# 山东大学

## 二〇一八年招收攻读硕士学位研究生入学考试试题

科目代码 359

科目名称 日语翻译基础

(请将所有试题答案答在答题纸上, 写在试题上无效)

### 一、词汇翻译部分。(每小题 1 分, 共 10 分)

○汉译日

1. 甲午战争
2. 边缘化
3. 垃圾邮件
4. 《红高粱》
5. 通货膨胀

○日译汉

6. タテ社会
7. 文月
8. ナショナルリズム
9. 空洞化家庭
10. エリザベス 2 世

### 二、句子翻译部分。(每题 2 分, 共 20 分)

○汉译日

1. 近年来, 回国养老成了海外华人的热门话题。在养老院比较发达的北京、上海、广东、厦门等地之中, 上海是海外华人的首选。
2. 不过随着生活现代化程度的提高, 违反交通规则的现象也越来越多, 比如闯红灯、超速开车、乱停车、开车打手机等等。
3. 现如今日本已成为和平、富裕的国家, 我们很容易会忘记和平的宝贵以及来之不易。我们必须要把战争的悲惨传达给年轻一代, 以免重蹈过去的错误。

4. 邮政事业要适应当今经济发展和社会进步的新形势, 发挥更大的作用, 必须进行体制改革和技术创新。各国的经济发展水平、历史文化传统和社会制度不同, 邮政发展水平也不同, 进行改革不可能有一种统一的模式。

5. 汉字是距今五千年前在中国产生的文字, 其数目据说有五万多, 不过, 实际使用的是五千左右。

○日译汉

1. 言わぬが花
2. 犬の遠吠え
3. ヨーロッパ人は、クリスマスにデコレーションケーキは食べない。実は、これ、洋菓子メーカー不二家が発案したものを戦後口コミで広められた、日本独特な風習なのだ。
4. 東京は断トツ日本一のグルメ都市。フランス料理やイタリア料理から中国料理、そして今話題のエスニック料理まで、これだけたくさんの種類のレストランがあるのは、世界中の都市を探っても珍しい。
5. 人間は、自然が生み出す物を資源として利用する一方、自分たちに都合のいいように、自然の姿を変えて生活している。この地球上で、人間だけが、自然の資源を思う存分利用したり、自然を改造したりする智慧と力を備えた生物なのである。しかし、それだからといって、人間が思いのままに自然の姿を変え、その資源を手当たりしだいに自分たちのものにしてしまってもいいのだろうか。

### 三、文章日汉互译。(每题 30 分, 共 120 分)

1. 人的一生只有一次青春。现在, 青春是用来奋斗的; 将来, 青春是用来回忆的。人生之路, 有坦途也有陡坡, 有平川也有险滩, 有直道也有弯路。青年面临的选择很多, 关键是要以正确的世界观、人生观、价值观来指导自己的选择。无数人生成功的事实表明, 青年时代, 选择吃苦也就选择了收获, 选择奉献也就选择了高尚。青年时期多经历一点摔打、挫折、考验, 有利于走好一生的路。要历练宠辱不惊的心理素质, 坚定百折不挠的进取意志, 保持乐观向上的精神状态, 变挫折为动力, 用从挫折中吸取的教训启迪人生, 使人生获得升华和超越。总之, 只有进行了激情奋斗的青春, 只有进行了顽强拼搏的青春, 只有为人民作出了奉献的青春, 才会留下充实、温暖、持久、无悔的青春回忆。

2. 自来水非常方便，它能随时提供人们所需要的水。然而，越来越多的人认为用自来自来泡茶、冲咖啡，或是稀释威士忌酒，味道不佳。因此，有许多公司开始贩卖起家庭用的净水器。只要将这种净水器接在家中自来水的水龙头上，就能消除氯之类的味道，使水变得好喝。据说非常畅销。另一方面，富士山附近河流的水既干净又美味的传闻也广为流传。有许多人带着大型容器，开车出门去装水回家。此外，书籍和电视也不断介绍各处名为“美味”的河流。而且，这种水被当作商品陈列在商店里贩卖。不仅百货公司，连超市或车站的自动贩卖机，也都陈列着罐装或者盒装的水。据说有的米店以及卖酒的店铺已经开始提供外国进口的矿泉水送货上门服务。终究连水都成了商品，成为商品的东西岂不是太多了吗？

3. 2008年国際金融危機以来、世界経済の回復が緩やかなものにとどまり、低速成長が続き、不安定や不確定な要素が明らか増えてきた。今は世界経済の正念場だ。G20杭州サミットの間、習近平総書記は一連の重要な講演を行い、各方面が重要な合意を達成したことを推進した。中国は各国と協力し、サミットの成果を全面的に実施し、改革開放と革新的発展を推進し、世界経済が力強く、持続可能、均衡、包容的な成長の道を歩むように促進する。

習近平総書記はG20工商サミットの開会式で、「現在、世界経済は深い調整の中で、曲折しながら回復しつつあり、新旧成長動力が転換する正念場にある。」と指摘している。世界経済が苦境を抜けようとし、マクロ政策に方向性が欠けており、グローバルガバナンスやG20がモデルチェンジに直面する正念場において、今回のサミットは国際社会の注目を集め、各当事者に高く期待されている。

世界経済成長が予想を下回り、分化の特徴がさらに明らかになった。国際金融危機は世界経済の成長力を弱め、世界経済の成長率は危機が爆発する前の5%から現在の3%に下落し、分化する態勢をも見せている。先進経済体の成長はほとんど低迷し、成長率は2%以下だ。アメリカの経済回復は比較的速いが、日本とユーロ圏の内的動力は強くないため、低迷な景気から脱出することはできなかった。新興経済体の中では、構造的改革が進んでいる国の経済は基本的に良いが、構造的改革が比較的遅れている一部の国の経済成長率が大幅に下落し、ひいてはマイナス成長にもなっている。経済動向の分化はマクロ経済政策の分化をもたらした。

4. 子どものころから眼鏡をかけていると、本の読み過ぎか、などと以前ならいわれたものだった。ガリ勉という好ましからざるあだ名をつけられかねなかった。それが嫌さにコンタクトを親にねだる子もいた。

少年少女の目が悪くなっている。文科省がおととい発表した調査では、高校生の65.8%が裸眼視力1.0未満だった。これまでで最多の割合という。ゲームやスマホが目の負担になっている可能性があるらしい。時代は変わった。

若者ばかりではないけれど画面を見つめっぱなしの人が街にあふれる。SNSなどでどこかにつながっている人々である。いまや日本は「つながりすぎ社会」だという議論を本紙文化面とデジタル版で読んだ。

哲学者の千葉雅也さんと批評家の浅田彰さんの対談だ。新進気鋭の千葉さんは、最近はやりのLINEなどを通じた過剰な「接続」が、むしろコミュニケーションを空疎にし、形骸化させていると指摘する。どこかで断ち切ることが必要ではないか、と。

社会の中で孤立する人が増える一方で、つながりすぎが心配される。矛盾した現象では多分ないのだろう。「個」であることと、人の輪をつくること。二つのことを各人の中で調和させる。それが大切であり、かつ難しいのだろう。

時には独り灯火に親しみ、書をひもとく。数多ある先人の優れた文章を味わう。若い人に勧めるとすれば、誠に月並みなことになる。目を痛めないようほどほどに、と付け加えつつ。